



十五夜 お月見だんご



保護者委員会の皆さんが、子ども達のためにお月見だんごを作って下さいました。大変有難うございます。日本では昔から、秋の名物として中秋の名月「十五夜」をお祝いする習慣があります。十五夜とは旧暦（日本の昔の暦）の8月15日頃の満月を言います。毎年少しずつ違ってきますが、今年の十五夜（中秋の名月）は9月24日です。なぜ満月を「十五夜」と言うのかというと、月は満ち欠けをくり返していますが、新月から満月に

なるまでには約15日かかるからです。この十五夜は平安時代には貴族がお月見をしていたそうですが、江戸時代に秋の収穫に感謝する収穫祭として庶民に親しまれるようになりました。お月見に欠かせないのが、すすきとお団子です。それに関して、昨年本校に視察にいらした女子栄養大学の平田先生のゼミの学生さんよりメッセージが届いていますので、ご紹介します。



《お月見》 9月の満月は、1年で一番美しいと言われ、これを「十五夜」と呼びます。十五夜では、団子やすすきを供え美しい月を鑑賞します。この「お月見」の文化は、中国から伝わり、日本での始まりは約千年前で、貴族が月を見ながらお酒を飲み、歌や音楽を楽しむ行事だったそうです。その後、一般に広まり、今のように電気がない時代、夜遅くまで農作業をする時に、月明かりは大きな助けとなっていたことから、「豊作を願う」という行事となりました。お月見団子は、上新粉という米からできた粉を水で練り、丸めてゆでたものです。丸い形を満月に見立てています。団子にはパワーの源である炭水化物が含まれています。すすきは稲穂に似ていることから米の豊作を願って供えられます。日本では、十五夜の日、給食にお月見団子が食べる学校もあります。ニュージーランドは、星空がとても素敵な国と聞いています。その素敵な国に住んでいるみなさんも、きれいな月を見て、お月見の風習を楽しんでもらえればいいなと思います。

9月24日の夜、晴れた空に十五夜お月さんを見ることができるといいですね！なお、女子栄養大学の平田裕美先生は11月3日に保護者対象に「家庭教育のあり方」について講演をして頂く予定です。ご期待下さい！



先週、後期の教科書が配られました。新しい教科書を手にしたときは、必ず頑張ろうと思うものです。本当に頑張って下さい。期待しています。もうすぐ春休みです。たまには補習校で習っていない教科書も見ては如何でしょうか？

配布のお手伝いをしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

お久しぶりです。日毎に暖かくなってきましたね。桜も咲き始めて綺麗な頃でしょうか。

在職中は、皆さまの配慮を賜わりありがとうございました。

おかげさまで、9月2日に無事女兒を出産しました。『美咲』と名付けました。初めての育児に戸惑うこともあります。子どもに恵まれた幸せを夫婦で噛み締める毎日です。

ワテネ 美奈子



3学期・4学期の予定

10月	20日	3学期始業式、保護者面談
10月	27日	漢字検定、保護者面談
11月	3日	保護者面談
11月	17日	補習校祭り
12月	1日	音読発表会 入園説明会・体験入園(午前)
12月	8日	入学説明会(午前)
12月	15日	3学期終業式
1月	22日	中3 卒業キャンプ(1泊)
1月	24日	小6 社会科見学
1月	26日	4学期始業式
2月	2日	授業参観
3月	9日	後期テスト
3月	16日	卒業式予行練習
3月	23日	卒業式・修了式・通知表

皆さん、こんにちは。僕は今年、ARA工科大学で日本語を勉強している、竹中アンドリューと申します。今はインターンシップで、このカンタベリー補習授業校にきています。Ilam Schoolに戻るのは2010年に補習校を卒業して以来なので、とても懐かしく、ありがたく感じています。将来は翻訳・通訳関係の仕事をやりたいと思っているので、ここで働けることに感謝しています。どうぞよろしくお願ひいたします。 竹中アンドリュー

